

優勝報告 家族の理解と協力に感謝
第42回全日本マスターズスキー選手権優勝報告

第42回全日本マスターズスキー選手権小樽大会のクロスカンントリー競技で優勝した伊藤一男さん（新中）が、3月23日に市役所を訪れ、津谷市長に優勝を報告しました。

伊藤さんは「85歳までは夢をもって競技を続けたい。家族の理解と協力があって競技が続けられており、心から感謝している」などと喜びを語りました。

津谷市長は「うれしい報告を受けてとても心強い。来年の活躍も期待している。ぜひ頑張ってもらいたい」などと優勝をたたえました。



学校行事 楽しい学校生活のスタート
市内小中学校入学式

市内の小中学校では、4月5日から4月7日に入学式が行われ、新入生が期待に胸を膨らませて式に臨みました。

このうち、阿仁合小学校（佐々木馨校長）には新1年生4人が入学しました。入学式では、新入生が先生の後に続いて、上級生が作った花のアーチをくぐって入場。新入生の点呼では、先生から名前を呼ばれると、元気よく大きな声で返事をしていました。

今年度は市内小学校では185人、中学校では223人の新1年生が学校生活をスタートさせました。



五輪報告 夫婦で挑んだオリンピック
平昌冬季五輪の結果報告

今年2月に行われた平昌冬季五輪のバイアスロン競技に出場した立崎芙由子選手（鎌沢出身）と夫の立崎幹人選手（小坂町出身）が、4月12日に市役所を訪れ、津谷市長に五輪の結果を報告しました。

この日、2人は競技の結果を報告し、芙由子選手は「今後は五輪にこだわらず、ワールドカップでも結果を残せるよう、一年ずつ記録を伸ばしていきたい」などと今後に向けて抱負を語りました。

津谷市長は「これからも夢と感動を与えられるよう、夫婦で頑張ってもらいたい」などと激励しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



記念式典 中心市街地に憩い・にぎわい・交流を
コムコム入館者数50万人達成記念セレモニー

北秋田市民ふれあいプラザ・コムコムの入館者数が、3月28日に50万人を達成し、同施設の交流広場で記念セレモニーを行いました。

この日、記念すべき節目の入館者となったのは、秋田北鷹高校2年の新澤真奈さんと河部咲季さん。記念セレモニーで2人は、津谷市長と一緒にくす玉を開披し入館者数50万人達成を祝い、花束と記念品が贈呈されました。

津谷市長は「コムコムは、憩い・にぎわい・交流をコンセプトとして出来た施設であるため、これからもコムコムを核として中心市街地が元気になるよう、取り組んでいきたい」などと述べました。



受賞報告 長年の功績がたたえられる
平成29年度秋田県スポーツ賞受賞報告

平成29年度秋田県スポーツ賞表彰式で功労賞を受賞した成田光弘さん（舟見町）と生涯スポーツ賞を受賞した坂上隆藏さん（羽根山）が、3月22日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

成田さんは「50年間子どもたちの指導を続けてきたことが認められてうれしい」坂上さんは「健康寿命を延ばすという意味でも、ありがたい受賞となった」などと受賞の喜びを報告しました。

津谷市長は「これからも若者たちの手本として頑張ってもらいたい」などと長年の活動をたたえました。



委嘱交付 夫婦で北秋田市の魅力を発信
地域おこし協力隊委嘱状交付式

地域おこし協力隊の委嘱状交付式が、4月2日に市役所で行われ、神奈川県横浜市出身の高橋了介さん（42歳）と高橋彩子さん（32歳）夫婦が「観光振興コーディネーター」として着任しました。

津谷市長から委嘱状が手渡されたあと、了介さんは「マタギ文化を日本のみならず世界に発信したい」、彩子さんは「地元の人たちに太鼓判を押してもらえどぶろくを作りたい」などと抱負を述べました。

津谷市長は「移住者として広告塔の役割も担ってほしい。活躍を期待している」などと激励しました。



受賞報告 実践記録をまとめ後進に伝授
秋田県バリアフリー推進賞受賞報告

秋田県バリアフリー推進賞を受賞した高橋重敏さん（元町）が、4月13日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

この度の受賞は、長年にわたる障がい児の支援教育の取り組みと、その経過を実践記録集として後進に伝授するなどの活動が認められたものです。

高橋さんは「55年間の活動は、支えられ反省し感謝の日々だった」などと活動を振り返りました。

津谷市長は「高橋さんの長年の支援活動が評価されて、とてもうれしい」などと受賞をたたえました。

